

# 第二次名張市子ども読書活動推進計画施策進捗状況調書

平成29年3月作成

## 指針1：家庭、保育所〔園〕・幼稚園における読書活動の推進

### 1 絵本の充実と整備

施策・方針	ア 絵本購入費の確保に努め、子どもの年齢やそれぞれの発達に応じた絵本を充実し、子どもたちが魅力ある本を手にとって見ることができる環境の整備を行います。 イ 子どもと本の出会いをより充実させるために、保育所〔園〕・幼稚園の図書館訪問や移動図書館の活用を推進します。
平成28年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立保育所4施設・公立幼稚園2施設では図書購入費の確保に努めました。幼児教育の推進体制構築事業の取り組みとして、各園約50冊の絵本を選定し、学びの芽をはぐくむ環境整備に力を入れました。</li> <li>・各施設では、年齢に応じた絵本を用意したり、表紙が見えるように置くようにしたり、子どもが調べることができるような鑑賞コーナーをつくるなど、絵本への関心を高めるための環境作りを工夫して行いました。乳児クラスでは、保育士に1対1で絵本を読んでもらう時間を設けるよう意識して取り組んでいる施設もあります。</li> <li>・親子読書推進のため、降所時間に合わせて親子に絵本の読み聞かせを行っている施設もあります。</li> </ul>
平成29年度 重点取組事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立保育所・幼稚園の図書購入費として、各施設図書10冊分の購入財源の確保を引き続き行い、身近に絵本に触れ合える環境整備を進めます。</li> <li>・絵本との出会いを意識し、保育所〔園〕・幼稚園の行事に関連した絵本を揃えるよう取り組みます。</li> <li>・市のマイクロバスや遠足の機会を利用し、図書館利用の推進を図るとともに、団体貸出の周知に努めます。</li> </ul>

### 2 読書活動推進のための取組

施策・方針	ア 保育士・幼稚園教諭対象に、子どもの年齢・成長に適した選書や読み聞かせの効果的な方法等を学ぶ研修の機会をもちます。 イ 保護者と子どもが本を介してコミュニケーションを深めるために、ブックスタート事業を継続させるとともに、保護者向けの読書活動に関する講座を開催するなど、家庭、保育所〔園〕・幼稚園への積極的支援を行います。 ウ 市立図書館と連携し、読み聞かせ等のボランティアの活用を図るとともに、各保育所〔園〕・幼稚園でのボランティアの受入を進めます。
平成28年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内や市内で開催される絵本に関する研修会や講演会の案内を行い、積極的に参加を呼びかけ、昨年より約40人ほど多い延べ122人の職員が参加しました。</li> <li>・職員向けの研修を実施した施設は17施設のうち7施設、保護者向けの研修を実施した施設は2施設でした。</li> <li>・本年度も昨年度同様、こども支援センターかがやきとマイ保育ステーション合わせて3施設で、在宅家庭の親子に絵本の読み聞かせを行いました。</li> <li>・ブックスタート事業への参加親子数は、2月末時点で事業対象家庭525家庭中330家庭でした。</li> <li>・親子読書の推進を図るために、園だよりやクラス懇談会の機会を利用し絵本の紹介を行った施設は17施設中12施設でした。</li> <li>・在宅家庭への絵本の読み聞かせを実施する施設が2施設増えて15施設になりました。</li> </ul>
平成29年度 重点取組事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子読書の推進を図るため、地域で子育て支援に関わる子育て支援員に絵本に関連した研修を年1回以上行います。</li> <li>・各施設で「こども読書週間」に関連した取組を行い、親子読書の推進に努めます。</li> <li>・各施設での絵本に関する取組事例について交流する場を設け、学び合う中で保育の質の向上に努めます。</li> </ul>

# 第二次名張市子ども読書活動推進計画施策進捗状況調査

平成29年3月作成

## 指針2：小・中学校における読書活動の推進

### 1 学校図書館の資料の充実

施策・方針	ア 国の平成24年(2012年)度からの「学校図書館図書整備5か年計画」に基づき、「学校図書館図書標準」達成率100%の学校の割合を、まずは、三重県平均レベルの小学校39.7%、中学校24.4%とすることを目指し、「更新冊数」も含めた資料の充実のため、図書購入費等の財源を確保していくよう努めます。
-------	---

平成28年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校図書館活性化事業」を行い、資料を充実させ、学校図書館を「読書センター」「学習・情報センター」として機能させる等、読書活動の推進と学校図書館の充実へ向けて取組の支援を行いました。(モデル校: 桔梗が丘南小、百合が丘小、赤目中、北中)</li> <li>・平成28年5月現在、学校図書館図書標準の達成率ごとの学校数は、小学校は25～50%未満が1校、50～75%未満が11校、75～100%未満が1校、100%達成が1校でした。中学校は25～50%未満が2校、50～75%未満が2校、75～100%未満が1校、100%達成が0校で達成率は伸び悩んでいます。</li> </ul>
----------------	--

平成29年度 重点取組事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館図書標準達成率の向上のために、財団・民間の助成制度等の調査・活用に努めます。</li> <li>・分類ごとの蔵書比率に鑑み、適切な購入を進めます。</li> <li>・「学校図書館活性化事業」で、これまでの先進事例について広く周知を図るとともに、資料を充実させて魅力ある学校図書館となるようさらに環境整備を進め、授業等で活用できるように支援を充実します。</li> <li>・授業等で多くの資料が必要な場合、学校間で貸出利用ができるシステムを作ります。</li> <li>・市立図書館と連携し、団体貸出の利用を推進します。</li> </ul>
------------------	---

### 2 人的体制の整備

施策・方針	<p>ア 学校図書館支援員を引き続き配置し、各学校の図書館整備と子どもの読書活動推進の支援を行います。</p> <p>イ 子どもと本のつなぎ手となる学校図書館の専任職員としての「学校司書」の配置にむけての検討を積極的に行います。</p> <p>ウ 「名張市教育センター」の機能を活用し、各学校の司書教諭等と連携しながら学校図書館の充実に向けた支援の体制づくりをすすめます。</p> <p>エ 司書教諭等や学校図書館ボランティアのスキルアップを目指し、研修の充実に努めます。</p>
-------	--

平成28年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校司書3人が、市内19校の小中学校を巡回して、全ての学校において図書館整備と子どもの読書活動推進の支援を行いました。</li> <li>・6月に学校図書館ボランティア、保護者を対象にした「幼児教育・子ども読書活動推進・図書館ボランティア研修講座」を実施しました。また、9月には学校図書館ボランティア・学校司書・司書教諭がともに学ぶ「学校図書館ボランティア・学校司書・司書教諭等研修講座」を実施し、学校図書館の役割とその活用について学びました。</li> <li>・学校司書が、全国学校図書館研究大会に参加しスキルアップを図りました。</li> <li>・学校図書館ボランティアの情報交換の場を年2回設け、活動の幅を広げることに努めました。</li> <li>・学校図書館ボランティアの登録が147人となり、昨年度より11人増員することができました。</li> </ul>
----------------	--

平成29年度 重点取組事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県等が主催する研修会に参加するなど、学校司書のスキルアップに努めます。</li> <li>・学校司書が、学校図書館活性化事業モデル校3校を中心に各学校を巡回し、効率よく学校図書館活性化に向けた取組(子どもの読書量と図書館利用の増加、図書館を活用した授業の活発化等)を行います。</li> <li>・司書教諭や学校司書等、学校図書館ボランティアのスキルアップために研修会を年間2回以上は実施します。</li> <li>・学校図書館ボランティアの情報交換の場を年2回以上設けます。また、学校図書館ボランティアの手引きを活用し、活動の充実を図ります。</li> </ul>
------------------	---

### 3 読書活動推進のための学校の取組

<p>施策・方針</p>	<p>ア 小・中学校図書館のコンピュータ管理への支援、小・中学校図書館のネットワークの構築、新刊図書配置の支援、司書教諭等への支援等、学校図書館の活性化に努めます。</p> <p>イ 読書活動推進のため、保護者への啓発を学校にはたらきかけるとともに、PTAとも連携を取り、子どもの読書活動推進の大切さについて、「懇談会」「講演会」「親子読書会」など様々な機会を発信します。</p> <p>ウ <sup>ウチドク</sup>家読の推進が図られるよう支援します。</p>
<p>平成28年度 実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度すべての学校においてバーコードによる貸出が実用化できたことにより、貸出密度や分類ごとの蔵書比率、貸出傾向を把握し、学校図書館の運営や資料の充実に生かしています。さらに、学校司書と連携して、必要な資料を他校から借用し、児童生徒の学習に生かすことができています。</li> <li>・学校図書館の役割(読書センター・学習センター・情報センター)に関する内容を明記した学校図書教育計画を作成した学校は、昨年度は2校でしたが、12校に増えました。(小学校10校、中学校2校)</li> <li>・「うちのススメ」を記載した便りを全校児童生徒を通じて家庭へ配布し、家読の推進を図りました。毎学期「としよだより」を全校児童生徒に配布し、読書活動の推進に努めています。(小学校14校、中学校5校)</li> <li>・PTAと連携し、保護者による読み聞かせや学校図書館の環境整備等、児童の読書活動を支援しました。(小学校4校)</li> </ul>
<p>平成29年度 重点取組事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年で学校図書館を活用した授業が計画的に行われるよう、学校図書館の役割を考慮した各学校の年間指導計画の充実に努めます。</li> <li>・委員会活動等をさらに活性化することで、児童生徒が学校図書館にさらに興味関心を深め、誰もが利用しやすい環境を作ることで、貸出密度の向上に努めます。(平成27年度貸出密度 小学校21.4冊 中学校0.8冊)</li> <li>・書籍購入におけるリクエスト制度の確立に努めます。</li> <li>・読書活動推進に資するため、各校が魅力ある「としよだより」を発行できるよう、教育センターと連携し、資料・情報の収集に努めます。</li> <li>・教育センターとして、PTA等に協力いただき保護者の研修会参加への支援を求める等、読書活動推進のための研修会、講座等を年間1回以上は実施します。</li> </ul>

# 第二次名張市子ども読書活動推進計画施策進捗状況調査書

平成29年3月作成

## 指針3：市立図書館における子どもの読書活動の推進

### 1 市立図書館の児童書の充実

施策・方針	<p>ア 市立図書館の全蔵書冊数に占める児童書の割合の目標値を25%程度とします。</p> <p>イ 保育所〔園〕・幼稚園や学校図書館への団体貸出用児童書の収集に努めます。</p> <p>ウ 内容が古くなったり傷みが激しくなったりした児童書を廃棄して蔵書の更新に努めます。</p> <p>エ 長く読み継がれて傷んできている児童書の買い替えに努めます。</p> <p>オ 身体の不自由な子どもたちのための点字図書や録音図書などの充実や、外国人の子どもたちのための外国語の図書の充実に努めます。</p> <p>カ 以上のことを実現するための予算の確保に努めます。</p>
-------	---

平成28年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蔵書冊数に占める児童書の割合 22.3%(児童書:13.0% 絵本:8.6% 紙芝居:0.6% 児童参考書:0.1%)</li> <li>・受入冊数に占める児童書の割合 18.7%(児童書:12.9% 絵本:5.5% 紙芝居:0.0% 児童参考書:0.3%)</li> <li>・平成28年度資料購入費(日本図書館協会公共図書館調査票の区分) 資料費:7,242,198円(内、図書費:6,364,862円 雑誌新聞費:871,166円 視聴覚資料費:6,170円) (平成29年1月末現在)</li> </ul>
----------------	---

平成29年度 重点取組事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立図書館の全蔵書冊数に占める児童書の割合の目標値に近付けることを念頭に置きながら、児童書の購入と更新に努めます。</li> <li>・上記の取組が可能な予算を確保します。</li> </ul>
------------------	---

### 2 人的体制の整備

施策・方針	<p>ア 児童サービスに関する専門的な知識を修得した児童サービス担当司書の確保により児童サービス</p> <p>イ 職員やボランティアの児童サービスの技術力の向上につながる研修等を年2回以上実施するよう</p> <p>ウ 市立図書館のボランティアや学校図書館ボランティアの他、子どもの読書活動にかかわるボランティアグループの組織化やコーディネートを行う受入体制を整備し、市立図書館内外で活動できるよう支援に努めます。</p>
-------	--

平成28年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育センター主催の図書館ボランティア研修講座(「学校図書館の役割とその活動について」林千智さん、「笑って学ぶ子育てのコツ～絵本とおもちゃをとおして～」岩城敏之さん)に協力しました。</li> </ul>
----------------	---

平成29年度 重点取組事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種団体の実施する子ども読書活動推進にかかわる研修会の情報収集に努め、積極的に参加するとともに、おはなし会ボランティアへの情報提供に努め参加を促します。</li> <li>・関係機関と連携して、子ども読書活動推進にかかわる研修会を2回程度開催します。</li> <li>・図書館業務委託事業者の選任した児童サービス担当司書を中心にして、児童への図書館サービスの充実に努めます。</li> </ul>
------------------	---

### 3 地域における子どもの読書活動推進のための取り組み

施策・方針	<p>ア 子どもを対象にしたサービスの内容や催しのあり方を再検討して、更なる子どもの読書活動の積極的・計画的な推進に努めます。</p> <p>イ 保育所〔園〕・幼稚園への移動図書館巡回の拡大や、団体貸出利用の推進に努めます。</p> <p>ウ 県立高校図書館・高等専門学校図書館と連携して、ヤングアダルトサービスを展開するとともに、その計画的な推進に努めます。</p> <p>エ 子育てを支援する様々な施設で親子がくつろいで読書を楽しめる環境づくりのため、関係部署との協議を進めます。</p>
-------	--

平成28年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども向けに図書を紹介する児童特集展示を行いました。(18テーマ、延べ展示冊数:1,969冊、延べ貸出冊数:3,349冊)</li> <li>おはなし会等を実施しました。(延べ56回、706人参加)</li> <li>子ども読書の日関連行事として拡大版おはなし会を開催しました。(4月23日開催:46人参加)</li> <li>図書館まつりを開催し、おはなし会を開催しました。(10月29日開催:42人参加)</li> <li>保育所〔園〕の児童の図書館訪問を受け入れました。(延べ12回)</li> <li>第9回なばり本の帯コンクールを共催しました。(応募点数:1,080点)</li> <li>教育フォーラム会場及び図書館ロビーで本の帯コンクール入賞作品を展示しました。</li> <li>ブックスタート(事業の説明、読み聞かせ)を実施しました。(247人参加)</li> <li>保育所〔園〕・幼稚園等への団体貸出冊数:1,028冊</li> </ul> <p style="text-align: right;">(平成29年1月末現在)</p>
----------------	---

重点取組事業 平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育所〔園〕・幼稚園の図書館訪問を積極的に受け入れ、その機会を利用する等して団体貸出の利用を勧めます。</li> <li>児童サービス担当司書が中心となり、おはなし会等の子ども向けの催しを実施し、子どもの読書活動の推進に努めます。</li> <li>児童書の特集展示を行い、子ども向けに図書を紹介していきます。</li> </ul>
------------------	---

#### 4 市立図書館による学校図書館支援

施策・方針	<p>ア 小・中学校の司書教諭等や県立高校学校司書との連携を強化し、学校図書館支援のあり方を検討のうえ、具体的な実施計画を策定します。</p> <p>イ 子どもの施設見学・職場体験を積極的に受け入れ、図書館への興味を深めさせることにより、子どもの読書活動の推進に努めます。</p> <p>ウ 図書館業務受託事業者による小・中学校への学校図書館支援を継続します。</p> <p>エ 県立図書館のサービスを活用した学校図書館支援について検討します。</p> <p>オ MILAIに参加している県立高校図書館との相互協力に努め、また、MILAIに参加していない高等専門学校図書館との相互協力についても検討し、蔵書の効果的な活用等の連携方法の研究を進めます。</p>
-------	---

平成28年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設見学(小学校4校)、職場体験(中学校3校)、高校(1校)を受け入れました。</li> <li>小中学校への学校図書館支援を実施するにあたっては、年度初めに各学校に事前調査を行い、年間計画を策定しました。</li> <li>小中学校の学校図書館を訪問し、ブックトークや読み聞かせ等を行いました。(訪問回数:延べ28回)</li> <li>小中学校への団体貸出冊数:1,719冊</li> <li>県立高校への団体貸出冊数:114冊</li> </ul> <p style="text-align: right;">(平成29年1月末現在)</p>
----------------	---

重点取組事業 平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの施設見学、職場体験を受け入れ、その機会を利用して子どもの読書活動の推進に努めます。</li> <li>学校図書館支援については、学校との連携を密にして訪問メニューを確認のうえ実施します。</li> <li>図書館教育担当者会や学校図書館支援の機会をとらえ、団体貸出の利用促進に努めます。</li> </ul>
------------------	---

### 1 指針1:家庭、保育所〔園〕・幼稚園における読書活動の推進について

- ・保育所・幼稚園には司書教諭は配置されていないが、絵本の購入については、予算を付けてもらっていることから、少しずつではあるが内容を吟味しながら絵本の購入をおこなっており、蔵書数が増えてきている。
- ・保育所では「やまなみ号」で本を借りて帰り各家庭で読んでもらっているが、各家庭だけの取り組みとなっているので、この取り組みを他の家庭へも広げられるよう考えていきたいと考えている。

### 2 指針2:小・中学校における読書活動の推進について

- ・ジャンル別のパーセンテージについて、文学は26%求められている中で名張市は40%ということであるが、資料を活用する意味では、文学以外が少ないのではないか。
- ・学校図書館を授業の延長として活用していただきたい。文学が40%とするなら、国語の発展学習では効果があるが、調査活動がメインの中、すぐに対応できるシステムでないと担任としては本が足りなくなり後手になる。
- ・調査活用の文学以外の蔵書率のパーセンテージを上げていく必要がある。第1回図書館教育担当者会で環境を整えていくように伝えていかないと効果が上がらない。
- ・図書ボランティアの登録が11人増えたが、中学校は減ってきている。小学校ではボランティアの方に読み聞かせをしていただいている。図書の整備だけでは図書ボランティアの方は反応しない。直接子どもたちと会うことが喜びにつながる。中学校でボランティアの登録が減ってきていることを検証し体制づくりをしなければならない。
- ・達成率100%の割合を増やすためには、100%に近い学校の本を増やせば上がるが、それは現実的ではない。底上げをしていかなければならない。
- ・次期第三次名張市子ども読書活動推進計画を策定するとした場合、現実的な目標を設定していかなければならない。100%の割合ではなく、「3%向上」のように名張市の実態に合わせた目標にすればよいのではないか。
- ・読み聞かせボランティアの情報交換が必要である。図書ボランティアだけでなく、ボランティア全体の情報を共有していく必要がある。
- ・読み聞かせ活動等、図書ボランティアが、どんな活動をしているかについて、全てのボランティアさんに知ってもらおうとよいのではないか。

### 3 全体を通して

- ・財政的に厳しい中であるが、実行性のある目標をもって次期推進計画を策定していくことが必要である。
- ・第一次名張市子ども読書活動推進計画、第二次名張市子ども読書活動推進計画ともに学校図書館と市の図書館で連携を深めてきた。これらの連携事業は必要である。第三次名張市子ども読書活動推進計画は、第二次名張市子ども読書活動推進計画を基盤として策定していく方向で考えていく。
- ・第三次名張市子ども読書活動推進計画については、委員会を別に作り平成29年度中に策定していく方向で考えていく。